

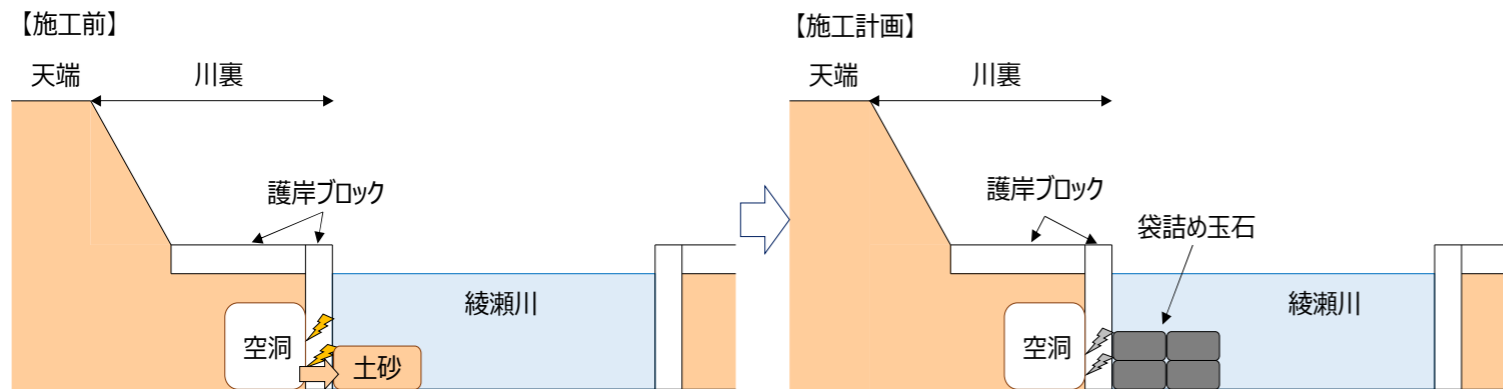
女性パトロール 実施報告

実施日:平成30年7月27日(金)
 対象現場:H30小名木川管内左岸維持管理工事
 報告者:TWS 笠原美寿々



現場では根固め工に使用する袋詰め玉石の作成を行っていました。袋詰めは1袋0.5tを440個作成するそうです。作業員さん同士のコミュニケーションが良く、かなりスムーズに作業ができていたように見えました。当日は風あり涼しく、2時間ごとに休憩をし作業を進めていました。

440個の袋詰めは、綾瀬川の護岸ブロックの前に設置される予定です。



護岸ブロックにひび割れが生じ、堤防の土砂が川の方に流れてしまい、堤防の空洞化が進んでいるそうです。堤防の土砂が川に流れないように護岸ブロックを補修し、袋詰め玉石を綾瀬川に設置、その後空洞の補修を行うようです。

袋詰めめのは大きさは150cmぐらい！



緊張する・・・



移動式クレーンの操作座席に座らせて頂きました。実際に乗ってみてわかりましたが、視界がとても狭いです。特に右後側は見えない範囲が広く、重機の近くに人が立っていても分かりませんでした。重機を操作する人はバケットに視線がいきやすくなりますが、移動するときや、旋回する時には特に注意することが必要だと再確認することができました。また重機の近くで作業をする場合は、重機が動いているときは絶対に近づかないことが一番だと思いました。重機に乗る人も周囲で作業する人もお互いに意識し合って作業することの大切さを感じることができました。



掲示物は配置がきれいでした。特に熱中症対策に関するチェックリスト等が目立ちました。作業員さんが目に付くように意識し、掲示されているように思いました。

重機に乗る機会がないので改めて『危険性』について考えさせられました。私が思っている以上に危険は身近にたくさんあり、現場の方は常に身の回りの安全性について考え、作業していることが分かりました。

女性パトロール報告書

現場名：H30小名木川管内左岸維持管理工事
現場職員：松岡 守男・村上 保・後藤 良輔

実施日：平成30年7月28日
実施者：笠原 美寿々・小柴 亜柚美

【パトロール状況】

作業内容：護岸補修工 袋詰め・根固め工 / 塵芥収集作業

護岸補修工 袋詰め作成



河川の水の流れから護岸を保護するために設置する袋詰めの製作を行っていました。1日で100袋ほど作成し、全部で445袋作成するとのことでした。

熱中症についての掲示物



日よけ場所がない現場での作業のため、10袋作成したら休憩と、こまめに休憩を取りつつ作業することを意識しているようでした。熱中症対策についての掲示物が目立つ場所に掲示されていました。

塵芥収集作業場



作業を2班で行っているため、交替が出来ず常時現場で作業しているとのことでした。体調管理に十分気をつけて作業を行ってほしいです。

作業状況



バックホウでの作業後、ネットの外にこぼれた割栗石を1個1個手作業で拾い集めていました。熱中症や立ちくらみ等に注意してほしいです。

根固め完成品



現場には完成した袋詰めがたくさんありました。1袋500kgほどの重さがあるとのことでした。袋詰め完了後、袋に1つずつ番号をつけ、重さ測定の管理をしていくとのことでした。

塵芥収集作業



重量管理の為に番号作成のお手伝いをさせていただきました。写真の写り方を考え、見やすい濃さにする作業が大変でした。職員の現場から帰ってきてからの内業を少しでも減らせるよう、お手伝いしていきたいと思います。